

「閑雅な食慾」群読コンテスト

萩原朔太郎作「閑雅な食慾」の群読シナリオを作り、発表する。

【目的】みんながそれぞれ読み取った「閑雅な食慾」の世界を群読で上手に表現する。
【目標】みんなが解釈と表現が一致した群読を作り上げる。

【授業の流れ】

「閑雅な食慾」を現代語で書き換える（ノート課題）。
「閑雅な食慾」の群読シナリオをグループで作成する。
群読練習（「あめ」も含む）・中間発表
コンテスト

【詳細】

詩はたくさん言葉が省略されている。その言葉を補ったり、今では古くなった言葉を現代の言葉に置き換えたり、難解な言葉をわかりやすい言葉に代えたりして、「閑雅な食慾」の現代語解釈文を作成する。
「わかりやすさ」の対象として、「中学校１年生がわかる」表現を目指す。

《フォーマット》各行（１～１１）ごとに改行を入れて記す。
行頭に行番号を記す。題名と作者名を１行目に記す。その他はいつもと同じ。

【詳細】

各班に配布された用紙に「閑雅な食慾」の群読シナリオを記す。書き直す必要もあるので、鉛筆で書いてかまわない。ただし、コピーして配布するので、濃く書くこと。

《フォーマット》

・言葉の繰り返しはＯＫだが、省略はＮＧ。
・いろんな技法を自由に入れてよいが、「追いかけ」は必ず１カ所以上入れること。
・「追いかけ」を入れた部分にはその解釈と技法の関連の説明をもらう。（シナリオ評価のポイント！）

【詳細】

「あめ」（規定演技）と「閑雅な食慾」（自由演技）の群読を発表する。

《評価のポイント》

- ・声の調和、大きさ、グループの割合。
- ・技法を正確に演技できているか。（規定演技）
- ・シナリオと解釈がマッチしているか。（自由演技）

月 日

11	5	4	3	2	1	閑雅な食慾 萩原朔太郎

年 組 番